

16個人の貢献たたえる 酒田市の特別功労表彰など顕彰式



酒田市の特別功労表彰、功労表彰、市民表彰、農業賞の4賞の顕彰式が11日、同市のベルナール酒田で開かれ、合わせて16個人が丸山至市長から表彰状などを贈られた。

の振興などに貢献した個人の表彰などを顕彰するもので、本年度の受賞者は特別功労表彰1人、功労表彰2人、市民表彰11人、農業賞2人の計16個人。

このうち10年ぶり14人目となった特別功労表彰には、1994年の市土門拳文化賞の創設以来、審査員を務

丸山市長（右）が一人一人に表彰状などを贈った

めている写真家の江成常夫氏(79)＝神奈川県相模原市、功労表彰には「市民の口腔の健康状態を世界一」を掲げ実践している歯科医の熊谷崇氏(73)＝酒田市内日吉町、市の商工業発展に尽力した前酒田ふれあい商工会長の中瀬義秋氏(68)＝同市三之宮がそれぞれ選ばれた。

この日の顕彰式には夫婦同伴の受賞者のほか、市の幹部や市議会の関係者ら計約120人が出席。丸山市長は式辞で受賞者一人一人の功績を紹介した後、「各分野で強い信念の下、豊かな識見と卓越した手腕を発揮し、輝かしい業績を残し、市民福祉の向上と市勢の発展に大きな貢献をした。健康に留意し、なお一層活躍されることを祈念する」と述べ、表彰状と記念の盾などを贈った。

受賞者を代表し、江成氏は「身に余る光栄で、写真人生最大の幸せ。この喜びをもとに、生ある限り日本の写真文化に微力を尽くしたい」、熊谷氏は「患者やスタッフ、業者のサポートのおかげ。今後も地域の人たちの健康に寄与できるように精進していく」と謝辞を述べた。